

キラリ人

やすい きくまつ
安井 喜久松さん
(上 迫・65歳)



▲「地域の子どもは地域で守ろう！」と安井さん

平成15年に「南比都佐地区安全なまちづくり協議会」を立ち上げられ、今回「近畿防犯協会連絡協議会長表彰」を受賞された安井さんに、今日までの地域防犯活動について、お話を聞きました。

平成15年、日野町で一番最初に防犯活動を行う協議会として「南比都佐地区安全なまちづくり協議会」が発足しました。防犯対策として、緊急通報システムを導入したり、防犯看板を立てたりと、さまざまな取り組みが行われました。

安井さんは、その発足に携わられ、現在も会長として活動しておられます。平成15年に「県防犯協会会長表彰」、平成18年には「警察本部長賞」を受賞され、今年5月30日に「近畿防犯協会連絡協議会長表彰」を受賞されました。感想をお聞きすると、「私ともなったというより、地域の皆さんがボランティアでやって

いてくださるからこそもらった賞です」と話してくださいました。

「南比都佐地区安全なまちづくり協議会」は、地域全体の防犯活動をされています。その中でも、連れ去り事件など、子どもたちが被害に遭う事件が多く起こっていることから、子どもたちの安全を守る活動に力を入れておられます。

下校時には『下校見守り隊』として、子どもたちの安全を見守り、老人会の皆さんの協力も得ながら、毎日誰かが子どもたちの安全を見守る環境が作られています。約70名の方が自主的に声を上げられたとのこと。「連れ去ろう

とする者がいたとしても、見守っているということを知れば近寄ることができない。それが目的です」と防犯活動の重要性を語ってくださいました。また、この活動は、安全を見守るだけでなく、あいさつをすることによって、子どもたちがほっとできる「あいさつ運動」にもなっているとも話してくださいました。

「学校の帰り道は、つらを折ったり、田んぼで遊んだり、かばんを道に置いて楽しい道草をしたものでした。道草というのは、自然に親しんだり、社会勉強のできる場でした」と子どものお話もしてくださいました。道草をしながら楽しく下校できた昔と違い、今は、ほんの数分間に、子どもが連れ去られる事件も起こっています。「道草をさせてあげたいけれど、今は子どもの安全が最優先です。昔のように、道草をしながら帰ることができない環境、『下校見守り隊』を作らなくてもよい環境になってほしいです」とおっしゃる安井さん。子どもたちの安全と楽しい時間を過ごせる環境を願う、安井さんの温かい気持ちが伝わってきました。



健康推進員
きたうら みつる
北浦 美鶴さん
(小井口)

ポイント

あさりには鉄分が豊富だけでなく、タウリンという成分も多く含まれ疲労回復に役立ちます。夏バテ防止の一品にお薦めです。煮汁にも栄養たっぷり。最後までおいしくいただけます。

ヘルシークッキング



材料(4人分)

あさり(殻付き) 300g、小松菜 200g
絹さや 100g、にんにく 2かけ
赤唐辛子 1本、オリーブ油(またはサラダ油) 大さじ2杯、塩 少々、しょう 少々

あさりと青菜の炒め物

作り方

- ①あさは砂出しをし、殻をこすり洗いで水気を切る。
- ②小松菜はゆでて2~3cmぐらいに切る。
- ③絹さやは筋を取ってさっとゆで、斜めに半分に切りオリーブ油大さじ1杯でさっと炒め、塩こしょうをする。
- ④にんにくは3mmぐらいに切り、赤唐辛子は小口切りにする。
- ⑤フライパンにオリーブ油大さじ1杯を熱し、④を香りよく炒め、①を加え、ふたをして蒸し煮する。あさがりが口を開いたら、②と③を混ぜ合わせ火を止める。

☆1人分エネルギー 79kcal

たんぱく質 2.6g/脂質 6.2g
鉄分 2.2g/塩分量 0.8g